

# 放射線治療センターがリニューアルしました！

皆さんご存知でしょうか？

ライナック治療室は3月27日に放射線治療棟の放射線治療センターとしてリニューアルいたしました。場所も中央棟地下1階から病院北側の放射線治療棟地下1階に移動しました。

現在、医師3名、看護師1名、放射線技師5名、受付2名の計11名で毎日業務に励んでおります。

放射線といえば「被ばく」「原発事故」などマイナスの言葉を連想する方が少なからずいらっしゃると思います。その一方で、院内ではレントゲン写真をはじめとし、疾患の発見や診断など様々なところで放射線が活躍しています。その一つが「放射線治療」です。

「放射線治療」は手術療法、化学療法と共のがん治療の3本柱の1つとされています。エックス線や電子線などの放射線を腫瘍に照射することで、腫瘍の縮小・疼痛緩和が見込める治療法です。また、手術療法のような痛みを伴う治療ではなく、化学療法のような強い副作用はありませんので、患者様にやさしい治療法です。

今回導入された放射線治療装置は Elekta 社製の Infinity という機種で、従来の放射線治療装置と比べて、より高精度な照射を病巣に集中して行うことが可能となりました。疾患や治療する部位によって患者様ひとりひとりに適したより効果的な治療計画を作成し、それを実現することができます。

患者様ひとりひとりにふさわしい治療を提供するため、各分野の職域で協力しながら日々業務に励んでまいります。



# リプロダクションセンター MIRAI station の開設について



リプロダクションセンターでは不妊症のカップルを診療の対象として、男性不妊と高度生殖補助医療を中心に診療を行っています。今年より新たに MIRAI station を開設し、4 月よりは婦人科医を増員して一般不妊治療をはじめとするいくつかの特色ある診療を開始しました。その内容について説明します。

## 一般不妊治療

不妊治療というと、体外受精のような高度生殖補助医療を思い浮かべがちですが、排卵の時期を超音波などで予測して夫婦生活の指導を行うタイミング指導や、精液を子宮内に注入する人工授精などの一般不妊治療があり、患者さんの費用負担がかからない治療です。

## 腹腔鏡手術・子宮鏡手術

不妊症の方は子宮筋腫、子宮内膜症を合併されることがよくあります。それらの疾患に対して腹腔鏡や子宮鏡を用いて侵襲の少ない手術を行い、妊娠しやすい環境を整えます。

## 心理的支援

不妊治療は大変心理的な負担が大きい診療です。頑張ってもなかなか妊娠という結果につながりません。努力しても報われないという経験に対しては様々な形での心理的支援が必要になります。生殖カウンセリングなどを通じて、診療中の患者さんを支えて参ります。

## 生活習慣指導

一部の生活習慣の乱れが不妊症の原因となっている場合があります。そのような患者さんには生活習慣の指導によって妊娠しやすい体質へ改善することができます。

顕微授精に代表される高度生殖補助医療は目には見ることができないレベルでの医療技術が必要であり、とても難解で身近に感じられない医療という印象を持たれるのではないのでしょうか。しかし、実際には不妊治療には外科的な手術、心理支援や生活習慣など決して特別ではない医療にまですそ野を広げています。MIRAI station はそのような幅広いニーズに応えられるために開設されました。様々な方面から患者さんのお役に立てる生殖医療を提供して参りたいと思っております。



# 獨協医科大学公開講座のお知らせ

今年度も公開講座を開催することとなり、越谷病院で開催される講座は以下のとおりとなります。  
平成3年よりスタートした公開講座は今年で26年目を迎えることができました。地域の皆様にご満足いただけるよう充実した講座にしたいと考えておりますので、皆さま是非お誘いあわせの上、多数ご参加ください。

## メインテーマ「高齢者に増加しつつある疾患」

日程・講師名

- ① 日 時：10月7日（土）14：00～15：30  
テーマ：年齢とともに増える手の不調、手のケガについて  
講 師：整形外科 学内准教授 佐野 和 史
- ② 日 時：10月14日（土）14：00～15：30  
テーマ：2型糖尿病の合併症及びその治療における注意点（特に高齢者に対する治療について）  
講 師：糖尿病内分泌・血液内科 准教授 竹 林 晃 三
- ③ 日 時：10月28日（土）14：00～15：30  
テーマ：総合診療からみた高齢者に多い病気  
講 師：総合診療科 学内教授 齋 藤 登

1. 会 場：獨協医科大学越谷病院 高架下会議室
2. 受講定員：80名（申込順）
3. 申込期間：9月上旬予定

※午前9時～午後4時30分にテキスト代1,500円（全3回分）を添えて庶務課まで。

4. 問合せ先：事務部庶務課

TEL 048-965-9137





## 青葉まつり(熊本地震復興支援イベント)報告

去る、5月26日・27日の2日間に亘り、熊本地震復興支援を目的とし「青葉まつり」を開催いたしました。1日目はあいにくの雨模様となってしまいましたが、2日目は天候に恵まれ多くの方々にご参加いただき盛況のうちに終了いたしました。

なお、熊本地震チャリティーイベントとし、昨年同様に収益の全てを義援金として寄付させていただくこととなり、同時に参加者から義援金の募集も行ったところ以下のとおりとなりました。

◇義援金	5,936円
◇青葉祭り収益	32,311円
合計	38,247円

皆様からお預かりした義援金並びに収益につきましては、日本赤十字社を通じて寄付させていただきました。

改めまして、皆様のご協力・善意に心より感謝申し上げます。

越谷病院庶務課

## 当院における夏季省エネルギー推進運動の実施について

当院では、政府が推進する「地球温暖化防止及び省エネルギー」の実施に伴い、院内の設定温度を28度としております。

また、教職員においては、5月1日から10月31日までクールビズ(服装の軽装化)を実施しています。

## エコキャップ回収活動報告

ご来院いただく皆様にはご理解の程よろしくお願いたします。

当院では社会福祉及び環境保全に貢献することを目的として、平成24年9月から、院内で消費されたペットボトルのキャップをNPO法人「キャップの貯金箱推進ネットワーク」を通じて分別・回収し、そのリサイクルによる売却益の中から発展途上国へワクチンや医療物資等を送る「エコキャップ回収活動」を開始しておりますが、直近のご報告として平成28年9月～平成29年2月分の回収状況及びワクチンへの換算は下記のとおりとなりましたのでご報告致します。

〈平成28年9月～平成29年2月〉

重量 37.50 kg 個数 16,125 個 ポリオワクチン(小児麻痺) 18.75 人分

キャップの回収BOXについては、中央棟1階売店前など計2箇所の自動販売機脇に設置し、教職員並びに患者様等、来院者の方々に協力を呼び掛けております。

私たちでも困っている人たちのために出来ることがあるという思いで、より多くのキャップを集めていきたいと考えておりますので、引き続き皆様のご協力を宜しくお願いします。

越谷病院庶務課

## 病院への手紙にお答えいたします

～当院の各部署に設置してあります、ご意見箱に寄せられる  
患者さまのご意見・ご要望等「病院への手紙」に対する回答～

### \* 外来の待ち時間について

〈外来患者・女性 60 歳〉

2ヶ月に一度ほど受診していますが、毎回必ず4時間以上待たされます。予約時間を実際に呼ばれる時間に合わせていただけないのでしょうか。

#### お答えいたします

診療をスムーズに運ぶべく、日々努力しておりますが、大学病院の性格上どうしても予約時間どおりに診療が出来ない場合があります。1. 専門的な治療内容の説明、2. 初診患者の対応、3. カルテ記入作業、4. 予定外の診療対応、以上の4つに時間がかかり、予約時間のずれが生じてしまう場合がございます。望ましいことではないので、予約システムの適正使用など対策を検討して参ります。

### \* 食堂の利用について

〈外来患者・女性 年齢不明〉

外来受診の後は食堂を利用しているが、特定の席を教職員がいつも使っている。食べている人がいるのに、予め食事を用意して席をキープするように置いていきます。古いしきたりのように感じます。

#### お答えいたします

ご指摘いただきました席は検食専用テーブルになっています。今後も誤解があるといけませんので、栄養課と相談しテーブルに表示するように検討します。

### \* 洗濯について

〈入院患者・女 51 歳〉

院内にコインランドリーがなくて困っています。設置してください。

#### お答えいたします

ご不便をおかけしまして申し訳ございません。現状といたしまして、院内にコインランドリーを設置するスペースがなく設けることが出来ません。地下2階にございます栄久（リネン室）をご利用いただければ幸いです。

## \* 病院前の歩道での喫煙について

〈外来患者・男 43歳〉

病院前の歩道でタバコを吸っている人がいる。ポイ捨ても多く不愉快である。

### お答えいたします

病院前の歩道は市の管轄となっており、市役所と連携を取りながら看板を立てるなどの対策をとっております。病院としては会議の後に吸い殻拾い等を実施しておりますが、更なるマナー向上に努めてまいります。

## 既存病棟のリニューアルに伴う リクエストの募集について

当院では、今後既存病棟リニューアルを計画しております。患者様からのご意見をいただくため、外来棟1階のリハビリテーションセンター横、及び各病棟に「病院への手紙」回収箱を設置しておりますので、ご意見がございましたらご投書をお願いいたします。

## 病院への手紙について

患者様から寄せられる「病院への手紙」につきまして、病院長をはじめとする当院幹部役職者が目を通したうえで、該当部署に回答及び今後の対応などを報告させています。

また、月1回開催している医療サービス委員会において改善案の計画・立案を行っており、その中で改善できるものは早急に改善し、検討を要するものは少しでも患者様のご要望にお応えできるよう日々努力しております。

この「病院への手紙」について、基本的にはお返事をお出ししておりません。ただし各該当部署と協議のうえ、必要であると判断させていただいた場合は返信することもあります。皆さまからのご意見を当院の貴重な財産として真摯に受け止め、より良い病院づくりの一助にしたいと考えております。

なお、皆さまからのご意見、そしてその回答については、この病院便りを通じて一部ご紹介させていただいておりますが、それ以外のものにつきましても、現状において可能な限り然るべき対応を行っていることをご理解賜りたいと思います。